



麻生のまちづくり



麻生まちづくり市民の会広報

第9号 2004年12月

“エコ..をアピール”

～ 麻生まちづくり市民の会「あさお区民まつり」に参加～



10月10日(日曜日)恒例のあさお区民まつりが麻生区役所周辺で開催されました。台風の影響を受けて小雨模様でスタートしましたが、たくさんの来場者で賑わいました。

今回は、初めて「麻生まちづくり市民の会」もテントを確保、会の活動のあらましの広報と、実践部会活動の「エコライフチャレンジ」が参加者に省エネルギーのアンケート

を実施し、ご協力頂いた数は予想以上に集まりました。

文化センター大ホールで開かれた「麻生ハートフルエイジファッションショー」はエコファッションをテーマに開催されました。

ファッションショーには川崎市長のご挨拶をいただきました。また、この活動は、市制80周年記念表彰で奨励賞を受賞しました。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課に問い合わせして下さい)

- 運営委員会…………… 12月14日(火曜日)14時から
- 実践部会…………… 12月2日(木曜日)14時から
- パートナーシップ推進部会… 12月3日(金曜日)18時30分から
- バックアップ部会…………… 12月1日(水曜日)14時から

市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

● 実践部会

重点化したテーマに基づいて、まちづくりの実践活動を行う

道路・交通小委員会

岡上跨線橋：引き続き調整中

ひやりマップ作成：麻生区全体のマップと中学校区別のマップを作成する計画

コミュニティバス：協議会2回目を開催。

市民から提案のあった、運行コースを实地検討する予定。

緑・環境小委員会

緑地保全ネットワークチーム

緑地保全を市民レベルで推進、実現するための情報の収集と活用をはかる目的で、市民によるネットワークの構築を目指して活動しています。

現在、市の政策、条例などの学習会や市民グループとの情報交流会を始めています。

公園・緑地の維持管理チーム

麻生区に、約220の緑地や公園があります。周辺住民が愛護会を結成し整備、保全活動を実施しているのは約半数です。そこで維持管理チームが愛護会の成功事例をヒアリングした結果、町会・自治会などが中心に愛護会をつくり活動している例がうまく運営されています。

葉積緑地もそれを目指し、広く周辺住民に呼びかけ、愛護会の設立に務めています。

環境チーム

10月10日(日)区民まつりに、市民の会として、初めて「やさしいエコライフ・チャレンジ」をパートナーシップ推進部会と、バックアップ部会の合同で出展しました。親子連れも多く、お陰様でアンケートには短い間に372人もの方に答えていた

だくなど、広く地球温暖化防止を訴える事ができました。

1ヶ月後に家族認定証がもらえる「エコライフ・チャレンジシート」に何通の応募があるのか、期待しています。

山百合の会

「ヤマユリは県花」昔は小田急線周辺の斜面地に自生し、「ゆりの咲く丘」の異名から、百合ヶ丘の駅名が生まれたといわれています。チームは「麻生山ゆり会」と命名し、栽培でヤマユリの里を復元しようと、102個の球根を緑地・公園等10ヶ所に植えました。

福祉・コミュニティ小委員会

「いいコミュニティをつくるには」つながりのあるまちはどうしたら作れるか？をテーマに、多方面の方々に参加をいただき、専門家や体験者も交えて一緒に検討したいと思います。



● パートナーシップ推進部会

行政とともにパートナーシップ型事業を企画し、その推進を行う

アートセンター検討グループ

11月10日に開催された第5回アートセンター整備推進協議会の席上で、2回のワークショップの運営役として参加した関係から、ワークショップで出された意見を協議会としてはどのように検討し、また、提言に反映するのかということについて9項目の申し入れを行いました。これに対して、資料による意見の整理や各委員からの発言、意見交換があり、ワークショップの意見についても、おおむね反映されることが確認されました。

課題検討グループ

景観形成協議会が主催する12月3日の“新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキの落書き消し”に参加することになりました。課題検討グループでも、話し合いを進めておりましたので、ちょうど良いタイミングでした。

(仮称)新しい市民利用施設検討グループ

旧あさひ銀行グランド跡地に整備が計画されている「(仮称)新しい市民利用施設」については、平成19年4月に予定されているオープンに向けて、いよいよ具体的な検討に入ることが必要となっています。

パートナーシップ推進部会は、区民、関係者、行政等の間に立って、ワークショップなどの運営により合意形成をはかりながら、意見を集約するという役割を持っています。

12月には、各種団体からの推薦と、公募による委員で構成される市民検討委員会が発足する運びとなりました。

施設の名称が、「地域貢献施設」から「(仮称)新しい市民利用施設」に変更されました。



バックアップ部会

市民活動を支える、環境整備のための活動を行う

活動の場の確保と情報提供小委員会

各公共施設や町内会、自治会所有の会館に調査票の記入をお願いし、回答をいただきました。

その内の何箇所かで直接お話を伺い、市や各団体の組織やそれに伴う規約などの概要を把握する上で参考になりました。10月から分野別に担当を決め、整理する作業を進めており、まもなく各施設の貸し出し状況を把握できる土台を作れそうです。

交流会・学習会などの企画・実行小委員会
「会議の達人になろう」

11月20日「会議のルールを作ろう」

11月27日「ワークショップを運営しよう」

私たちが参加する会議のありかたを見直し、大切な基本を確認するために、そして、参加者が自由に意見を出すことができ、意見をまとめる上で効果的な手法と運営を学ぶために開催します。

情報検討小委員会

市民の会会員活動を、更に活性化とレベルアップをはかるため、秋季「初心者のためのパソコン講座」が開かれています。全5回（11月2日より12月13日）を予定しています。パソコンを使いこなし、電子メールの利用が増加することで、部会活動の情報連絡がスムーズになることを目指し、今後も続く講習等で是非スキルアップをはかりたいものです。

区民活動支援ルーム運営委員会

市民活動の活性化に不可欠な団体間の交流という課題に取り組んでいます。

各団体の活動紹介カードを作成し、交流促進の基礎資料にします。

登録団体からはカードが続々と送られてきており、小冊子を作成の上、11月の支援ルーム運営委員会で検討したあと登録団体への配布を予定しています。



麻生まちづくり市民の会各部会活動報告は、その時々状況を選択して記事にしています。



新百合丘駅周辺景観形成協議会

当協議会では、年々ひどくなる落書きをなんとかしたいと、活動に取り上げました。

まずは実績のある下北沢に勉強に行きました。

そこで、実行委員長から、「落書きは犯罪です。少しでも残しが有ると再発します。公共物に書かれている間に消してしまう事が大切。」等の助言を戴き、早速、9月に場所と面積をメジャーで測るなどの現況調査を行

い、10月に「景観形成協議会だより」を配布して、地区の町会、商店などに参加を呼びかけました。

また、作業手順、役割分担の方法を探るために11月25日にパートナーシップ部会や技術協力の麻生建設センターと共に予行演習する予定です。今回は限られた範囲ですが「落書きを放置しない美しい街」をアピールできるよう、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

多数の参加をお待ちしています。

(景観形成協議会広報部長 角井美智子)

作業日：12月3日(金)8時30分

区役所2F正面玄関集合

問い合わせ先：川崎市街なみデザイン課

電話 200-3012(天神、中上)

(雨が予想される時は前日17時まで決定)

第1回コミュニティフォーラムのご案内

～子育てを通じてつくる、地域のつながり～

日時：2005・1・22(土)午後1時30分～4時30分

場所：麻生区役所4階 第1会議室

参加者募集：先着80名

希望者は下記へ1月10日までに申し込み

申し込み先：麻生区役所地域振興課

Tel：044-965-5116 Fax：044-965-5201

参加費：無料

内容

基調講演：村井祐一氏

(田園調布学園大学・地域福祉学科助教授)

いいコミュニティをつくるにはどうしたらいいか/子育てを通してコミュニティづくり
ワークショップ：7～8人のグループで
茶話会：午後5時～6時、同じ会場で懇親をはかります。

「かわさき・まちづくり交流会」反省会開催
9月11日に行われた「第一回かわさき・まちづくり交流会」の反省会が中原区にある市民活動センターで行われました。開催区となった麻生区では、当日の様子の録音や写真等をCD-Rに納め各区に差し上げました。他区の方から大好評を得ました。

編集後記 恒例の「区民まつり」も成功裏に終わり、季節が秋から初冬へと変わりつつあります。

例年になく、自然災害が相次ぐ中でも、わがまち麻生は平穩に過ごせてます。被災された方々の一日も早い復興を念じつつ、麻生のまちづくりに励みたいものです。

(清水)

発行：麻生まちづくり市民の会広報委員会

連絡・問い合わせ先：麻生区役所地域振興課 電話965-5116